

指定管理導入施設実績評価シート（令和3年度）

	施設所管課	健康保険部 事業所・施設整備室
施設名	大津市立木戸老人福祉センター他4施設	
指定管理者	社会福祉法人 大津市社会福祉事業団	
指定期間	平成30年4月1日 ~ 令和5年3月31日	
指定管理料	年額115,388,000円(令和3年度) (総額 574,864,000円)	
設置目的	老人福祉法第15条第5項の法廷に基づき、老人の福祉の増進を図るため、市内5か所の老人福祉センターを設置する	
業務内容	(1) 生活、心身等に関する相談及び指導 (2) 保健及び疾病の予防に関する相談及び指導 (3) 後退機能の回復訓練及び回復指導 (4) 教養の向上及びレクリエーション (5) 生業及び就労に関する相談 (6) その他市長が必要と認める事業 その他、大津市立北老人福祉センター、大津市立南老人福祉センター及び大津市立東老人福祉センターにおいては、介護保険法第8条第7項に規定する通所介護、同法第115条の45第1項第1号口に規定する第1号通所事業その他の老人福祉法第5条の2第3項に規定する老人デイサービス事業を行う。	

所管課 総合評価	I～IVによる総合評価	総合評価コメント
	B (良好)	昨年度は新型コロナウイルス感染症対策に関する補助金、介護職員慰労金の収入があり、それを除くと昨年度対比95.1%と収入は微減。介護保険事業収入で減少となったが、生きがい事業(入浴事業)については利用者数の増加が利用料収入に反映され132%と大幅増となった。支出においては燃料費や光熱水費の値上げによる支出増等があったものの、全体では各センターの努力により昨年度並みとなった。今後も収入増、支出減を目指し、安定した運営を行なえるよう尽力されたい。

評価項目及び評価の視点	確認資料	自己評価	自己評価事由	所管課評価	所管課評価事由
施設の設置目的の達成 <input type="checkbox"/> 施設の設置目的を十分に理解し、それを踏まえ管理運営に努めていたか。	条例、仕様書、事業計画書、事業報告書	B (良好)	事業計画に基づき運営している	B (良好)	事業計画に基づき運営されている。
職員の勤務実績・配置状況・労働条件 <input type="checkbox"/> 事業計画書に沿った職員を配置していたか。 <input type="checkbox"/> 必要な資格、経験を有する職員を確保していたか。 <input type="checkbox"/> 出勤状況、勤務形態等、労働条件が適正であったか。 <input type="checkbox"/> 障害者の雇用促進に努めていたか。	仕様書、事業計画書、日報、勤務表、資格証、実地調査、労働条件モロリング	B (良好)	事業計画に基づいた職員配置を行っており、職員の労働条件等においても適正に実施している	B (良好)	事業計画に基づいた職員配置を行っており、職員の労働条件等においても適正に実施している。
職員の研修 <input type="checkbox"/> 事業計画書に基づき、業務に必要な研修、教育が実施できたか。	仕様書、事業計画書、事業報告書、研修資料等	B (良好)	安全運転講習や人権研修、健康教育研修を実施各センターでも必要に合わせ研修を受講している	B (良好)	施設の立地に関連し、土砂災害及び水害に関する避難確保計画に基づき訓練を実施
法令等遵守 <input type="checkbox"/> 関係法令、条例等を遵守していたか。	仕様書、関係法令等、実地調査	B (良好)	法令・条例を遵守している	B (良好)	法令・条例を遵守している
個人情報保護・情報公開 <input type="checkbox"/> 個人情報・情報公開の取り扱いについて、協定書に基づき適切に行っていたか。	仕様書、協定書、管理方法(実地調査)	B (良好)	個人情報の取扱いについては、協定書に基づき適切に行なっている	B (良好)	適切に行われている。
管理記録 <input type="checkbox"/> 業務日誌等を適切に整備、保管していたか。 <input type="checkbox"/> 点検結果や修繕履歴等を適切に記録・保管していたか。	日報、点検結果等関係書類、実地調査	B (良好)	管理記録について適切に整備・保管している	B (良好)	適切に整備、保管されている。
連絡体制 <input type="checkbox"/> 市と指定管理者間で十分に連絡、調整を行っていたか。 <input type="checkbox"/> 事業計画書、月報、事業報告書、その他報告書等の提出や内容が適正であったか。	仕様書、事業計画書、事業報告書等関係書類	B (良好)	市へ報告すべき事項については、連絡・調整を行ない、報告書等については、速やかに提出を行なっている	B (良好)	定期的な協議を行い、情報交換を行ってきた。契約に基づき報告は適切に行われている。
緊急時対応 <input type="checkbox"/> 事故・災害等の緊急時の連絡体制が確保されていたか。 <input type="checkbox"/> 緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行うなど、職員への指導徹底を図っていたか。	仕様書、事業計画書、事業報告書、緊急時対応マニュアル	B (良好)	緊急時の連絡体制を確保するとともに、マニュアルを整備し、対応している	B (良好)	緊急時の連絡体制を確保するとともに、マニュアルを整備、対応している
《I 総括》 業務の実施体制に関する評価【標準8項目/当施設8項目】		B (良好)		B (良好)	

指定管理導入施設実績評価シート（令和3年度）

評価項目及び評価の視点		確認資料	自己評価	自己評価事由	所管課評価	所管課評価事由
Ⅱ 内容・水準	施設管理 <input type="checkbox"/> 開館日、開館時間を遵守していたか。 <input type="checkbox"/> 事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じていたか。	条例、規則、仕様書、事業計画書、日報	B (良好)	定められた開館日、開館時間を遵守している また、施設管理運営マニュアルを整備し、職員へ周知徹底している	B (良好)	定められた開館日、開館時間を遵守している また、事故防止・安全確保のためのマニュアルを整備し、職員へ周知徹底している
	利用状況 <input type="checkbox"/> 利用者数、稼働率等が前年度実績や目標と比較し適正な水準であったか。	事業計画書、事業報告書	B (良好)	休館期間のあった昨年度と比較してほとんどのセンターで利用者数は増加しており、全体で109.2%の増となった	B (良好)	前年度はコロナ禍の影響があったとはいえ、その中でも利用者数を増加させている。
	利用者対応 <input type="checkbox"/> 利用許可や案内等、職員の対応は迅速かつ適切に行っていたか。 <input type="checkbox"/> 服装、言葉遣い、接客態度等の接遇は適切であったか。 <input type="checkbox"/> 利用者に対して設備、備品等を適切に提供したか。	業務マニュアル、意見・苦情等受付簿、アンケート、実地調査	B (良好)	施設管理運営マニュアルに基づき、利用者対応等適切に対応している	B (良好)	施設管理運営マニュアルに基づき、適切に行っている。 新型コロナウイルスに係る対応についても適切である。
	業務運営(全体) <input type="checkbox"/> 事業計画書に則し、事業を計画どおり実施したか。 <input type="checkbox"/> 利用促進に向け、積極的に取り組んでいるか。	仕様書、事業計画書、事業報告書、実地調査	B (良好)	概ね計画どおり実施している	B (良好)	概ね計画どおり実施している
	自主事業運営 <input type="checkbox"/> 自主事業計画書に則し、事業を計画どおり実施したか。 <input type="checkbox"/> 利用者の満足度を高める工夫がされたか。 <input type="checkbox"/> 事業の実施により市民サービスの向上に効果があったか。 <input type="checkbox"/> 施設の設置目的に沿った自主事業を実施したか。	仕様書、自主事業計画書、自主事業報告書、実地調査	B (良好)	多くの人が集まる高齢者趣味講座発表会は中止となったものの、人数制限を行いながら各センターで介護予防体操等を実施	B (良好)	感染拡大の観点から様々な制限がある中で、工夫して事業を実施された。
	維持管理 <input type="checkbox"/> 施設、設備の保守管理(点検・修繕)を計画的に実施したか。 <input type="checkbox"/> 修繕が必要な箇所について、適切に対応したか。 <input type="checkbox"/> 日常の清掃、保安、警備は適切に実施しているか。 <input type="checkbox"/> 備品台帳に基づき備品を管理、修繕したか。 <input type="checkbox"/> 植栽、樹木等の維持管理を定期的に行い、美観が保たれていたか。	仕様書、備品台帳、点検結果、委託契約書、実地調査	B (良好)	施設・設備の維持管理を適切に行なっている。 また、利用者から新たな要望等があれば応えられるよう努力している	B (良好)	利用者の要望を踏まえ、小額修繕について、適宜行われている。
	情報提供 <input type="checkbox"/> 施設案内、事業の開催案内等のパンフレット類を整備し、情報発信に努めていたか。 <input type="checkbox"/> ホームページ等の管理及び更新は適切に行っているか。	パンフレット・ホームページ等、実地調査	B (良好)	パンフレットによる案内や事業団ホームページにより情報発信している	B (良好)	ホームページやパンフレットの更新等情報発信に努めている。
	環境配慮 <input type="checkbox"/> 省資源、省エネルギー等環境への配慮、リサイクル等の推進等に努めていたか。	関係書類、実地調査	B (良好)	省エネ等職員一丸となって取り組んでいる	B (良好)	省エネ・省資源化に取り組んでいる。
	意見・要望・苦情 <input type="checkbox"/> 意見・要望・苦情等を把握する仕組みを確立しているか。 <input type="checkbox"/> 要望・苦情等の対応に迅速かつ適切に対応し、可能なものは管理運営に反映していたか。	事業計画書、事業報告書、日報、アンケート	B (良好)	センターに意見箱を設置し、利用者からの意見を集約している	B (良好)	センターに意見箱を設置し、利用者からの意見を集約している。
	利用者アンケート <input type="checkbox"/> 利用者アンケート調査等を実施するなど、利用者ニーズを積極的に把握し、その結果を管理運営に反映していたか。	事業計画書、アンケート、実地調査	B (良好)	10月に入浴に関するアンケート、2月に生きがい・デイサービス事業に関するアンケートを実施	B (良好)	各センターで実施済。アンケート結果にも対応している。
《Ⅱ総括》 業務の内容・水準に関する評価【標準10項目／当施設10項目】			B (良好)	B (良好)	B (良好)	B (良好)
Ⅲ 収支等	経理事務 <input type="checkbox"/> 専用口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行ったか。 <input type="checkbox"/> 経理区分を設け、指定管理料を適正に執行していたか。 <input type="checkbox"/> 料金徴収、減免、還付の手続きは適切に処理していたか。	預金通帳、出納帳、利用申請書・減免申請書等、実地調査(金庫等)	B (良好)	つり銭管理、利用料徴収等適切に管理している また、経理執行状況については、各区分に分け管理をおこなっている	B (良好)	つり銭管理、利用料徴収等適切に管理している 経理執行状況については、各区分に分け管理を行なっている
	収支状況 <input type="checkbox"/> 予算と決算に大幅な相違がなく、収入－支出はプラスとなっているか。 <input type="checkbox"/> 収支状況が対前年度比及び当初の目標を達成しているか。	事業計画書、事業報告書	B (良好)	介護保険事業収入の減収もあり、収入については微減 支出は昨年度並みとなった	B (良好)	昨年と比較し、収入支出とも微増。安定した収支状況である。
	経費節減の取組 <input type="checkbox"/> 経費削減に向けた取り組みを積極的に実施し、その効果が上がったか。 <input type="checkbox"/> 清掃、警備、保守点検、修繕等の第三者への委託が適切な水準、内容で実施されたか。	仕様書、事業計画書、事業報告書、委託契約書、実地調査	B (良好)	電気の法人特約、デマンド監視システム等電気使用料の削減が順調に進んでいる	B (良好)	R2年度はコロナ禍による事業停止があったため比較対象とならないが、光熱水費はR1年度以下に削減ができています。
《Ⅲ総括》 経費の収支等に関する評価【標準3項目／当施設3項目】			B (良好)	B (良好)	B (良好)	B (良好)
Ⅳ その他 (独自)	その他 <input type="checkbox"/> 努力事項として掲げた社会貢献及び地域貢献の取り組みを推進したか。	仕様書、事業計画書、事業報告書、実地調査	B (良好)	学生の福祉現場実習について幅広く受け入れを行う予定であったが、コロナウイルス感染防止の観点から、現在は見送っている	B (良好)	感染防止の観点から受け入れできないことは、やむを得ない。
	《Ⅳ総括》 その他に関する評価【当施設1項目】			B (良好)	B (良好)	B (良好)

指定管理導入施設実績評価シート（令和3年度）

主な成果 (全体)	介護保険収入	目標	107,221 千円	⇒	実績	93,860 千円
	稼働率	目標	84.4 %	⇒	実績	77.3 %
	入浴料	目標	3,524 千円	⇒	実績	3,190 千円
	一般及びデイ利用者数	目標	123,155 人	⇒	実績	99,662 人
	【指定管理者コメント】					
今年度も新型コロナウイルス感染拡大防止のため、センター主催講座の休止やサークル活動・入浴事業の一部利用制限の実施、緊急事態宣言の発令に伴う入浴事業の一時休止など、昨年度に引き続き大きく影響を受けることとなった。昨年度と比較して一般利用者数や入浴利用者数は増加しているものの、目標には届いていない。まだまだ収束が見えない状況ではあるが、感染予防に努め安心安全な施設管理・運営を目指す。						
【施設所管課コメント】						
感染拡大防止が事業運営の最優先事項である以上、施設利用に一定の利用制限が課せられるのはやむを得ない状況である中で、感染防止対策を万全にした上で事業を継続できている。デイサービス事業については全体として稼働率が伸び悩んでいるものの、直近では回復傾向も見受けられる。引き続き新規利用者を獲得できるよう営業活動等に尽力されたい。						

自主事業 実施による 成果	<主な自主事業の実施状況>				
	事業名	指定自主事業・自主事業の別	事業内容	実施状況 (実施・追加・未実施)	特記事項(「未実施」の場合はその理由)
	介護予防体操 (全センター)	自主事業	地域の高齢者を対象とした軽運動教室	実施	
	菖蒲湯 (全センター)	自主事業	季節感を取り入れたお風呂の提供	未実施	新型コロナウイルス感染拡大防止のため
	高齢者趣味講座発表会 (全センター)	自主事業	市内老人福祉センターのサークル間交流を目的とした発表会	未実施	新型コロナウイルス感染拡大防止のため
	うた声パラダイス (中老)	自主事業	利用者がカラオケを通じて楽しく集う事業	実施	
	老仁講座 (木戸老)	自主事業	フラダンス鑑賞や音楽鑑賞といった娯楽講座、シイタケ栽培講座(木戸公民館と共催)を実施	実施	
【指定管理者コメント】					
新型コロナウイルス感染拡大防止のため、不特定多数の人が集まることが想定される菖蒲湯や高齢者趣味講座発表会は今年度は中止となった。各センターでは介護予防体操等人数の制限を行いながらの実施となったが、特に介護予防体操については募集定員を超える人気の講座となっており、多くのご利用者にご参加いただいた。					
【施設所管課コメント】					
感染拡大第6波の時期であったが感染対策を万全にされた上で参加希望者も多い講座等の実施にご尽力されました。今後も引き続き利用者の安全安心を最優先に事業実施に取り組んで頂きたい。					

課題及び 課題解決 の結果	【指定管理者コメント】
	2月にアンケートを実施する中で、今年度はほとんどが中止されているセンター主催講座について再開を望む声がいくつかあった。木戸老人福祉センターでは感染対策の徹底しながら、朗仁講座を3回開催。いずれの回でも好評を得ており、利用者数の増加にもつながっている。次年度へ向けて、人数の制限は必要になってくると思われるが、感染対策を講じながら各センターでできる範囲での主催講座の再開を検討していく。
	【施設所管課コメント】
	事業の再開と感染予防対策の両立は難しいものであるが、指定管理者の工夫や利用者の理解と協力を得ながら運営して頂いている。引き続き、感染対策や衛生管理を万全に行い、利用者の健康づくりの場として事業を実施して頂きたい。

特記事項等

※評価基準：項目別評価、《総括》、総合評価の評価基準(A～D)は、モニタリングチェックシートと同様とする。

※評価手順

指定管理者自己評

➡

所管課評価

➡

指定管理者

➡

行政改革推進課(ホームページ等により結果公表)

送付